公共交通の利用促進に向けた 実施事業に対する住民意向に関するアンケート調査企画(案)

(1)アンケート調査の目的

- ・公共交通の利用促進に向けて実施を予定する施策・事業 について、その必要性に対する市民 の意向を把握することを目的にアンケート調査を実施する。
- ・市民意向の把握結果を踏まえ、必要に応じて施策・事業の内容について見直しを行った上で、 必要性の高い事業を「倉敷市地域公共交通計画」に具体の事業として位置付けることとする。
- ・なお、事前に市民意向を把握することで、必要性の低い(市民の協力意向を得にくい)施策・ 事業を判別し、必要性の高い事業のみを計画に位置付けることで、計画の実効性を高めること を狙いとする。

交通事業者へのヒアリング、意見交換を踏まえて設定

(2)調査方法について

・市内全域の 16 歳以上の方を、地区ごとに無作為抽出し、郵送により 3,000 部配布する。

無作為抽出条件(住民基本台帳データより、以下の項目を考慮)

- ・地区別の人口比率(倉敷、児島、玉島、水島、庄、茶屋町、船穂、真備)
- ・性別の人口比率
- ・年齢別の人口比率(高校生以上を対象とし、16~19歳、20~24歳、以降5歳ごとに79歳までと80歳以上に区分する)

(3)調査内容について

・事業の細かな内容を提示しても市民は回答しづらいと考えるため、基本的には各施策の必要性等を 確認する設問とする。

個人属性 令和3年度アンケート調査との整合

性別、年齢(5歳階級) 世帯構成、職業、居住地域(郵便番号) 最寄駅・停留所までの所要時間、 免許保有状況、自宅にある乗り物

公共交通の利用状況 令和3年度アンケート調査との整合

- ・過去3カ月における利用状況(バス、鉄道、タクシー、コミタク)
- ・バス利用者への質問(よく利用するバス、満足度、今後の利用意向)
- ・バスの未利用状況(利用していない/利用できない/利用したくない) 施策・事業について
- ・公共交通を取り巻く現状や将来見通しを提示(公共交通の存続危機 免許返納後の移動手段の制約) しながら、各施策について必要性(5段階)を確認
- ・あわせて「必要と考える」「やや必要と考える」施策については優先順位(1~3位程度)を確認
- ・次期計画において、特に力を入れて取り組みたい事業(1~3事業程度)については、具体の事業内容を提示した上で、事業ごとに必要性(5段階)や有効性(事業が実施された場合の利用意向等)を確認

公共交通の利用促進に向けた実施事業に対する住民意向に関するアンケート調査

あなたご自身について

質問	回答
あなたの性別を教えてください。 (1 つを選択)	1.男性 2.女性 3.その他 4.回答したくない
あなたの年齢を教えてください。 (1 つを選択)	1.16~19歳 2.20~24歳 3.25~29歳 4.30~34歳 5.35~39歳 6.40~44歳 7.45~49歳 8.50~54歳 9.55~59歳 10.60~64歳 11.65~69歳 12.70~74歳 13.75~79歳 14.80歳以上
あなたの世帯構成を教えてください。 (1 つを選択)	 1. 単身(一人暮らし) 2. 夫婦 3. 家族・親族 (親・子・孫・祖父母・おじ・おば など) 4. その他(友人など)
あなたの職業を教えてください。 (1 つを選択、その他は記入)	1.会社員・公務員 2.専業主婦(夫) 3.パート・アルバイト 4.自営業・自由業 5.生徒・学生 6.働いていない 7.その他()
あなたのお住まいの地域を教えてください。(郵便番号を記入)	(₹)
最寄の鉄道駅、バス停まで歩いた場合の概ねの所要時間を教えてください。 (具体的に記入)	鉄道駅まで、約()分バス停まで、約()分
あなたの運転免許証(自動車、バイク 等)の保有状況を教えてください。 (1 つを選択)	1.保有している 2.保有していない
あなたが利用できる、ご自宅にある乗り 物を教えてください。 (あてはまるもの全てを選択、その他は記入)	1.自転車 2.自動車(自分で運転) 3.自動車(家族が運転) 4.バイク 5.利用できる乗り物はない(徒歩で移動) 6.その他()

1 公共交通の利用状況について

	質問	回答
問 1	過去 3 カ月における鉄道の利用 状況を教えてください。 (1 つを選択)	1.週4日以上利用2.週に2~3日利用3.週に1日程度利用4.それ未満5.鉄道を利用していない
問 2	過去 3 カ月におけるタクシーの 利用状況を教えてください。 (1 つを選択)	1.週1回以上利用 2.月に数回利用 3.2~3カ月に1回程度 4.タクシーを利用していない
問 3	市内で運行されているコミュニティタクシーの、認知・利用状況を教えてください。 (1 つを選択)	1.利用したことがある 2.知っているが利用したことはない 3.運行されていることを知らない
問 4	過去 3 カ月における路線バスの 利用状況を教えてください。 (1 つを選択)	1.週4日以上利用 2.週に2~3日利用 3.週に1日程度利用 4.それ未満 5.バスを利用していない
問 5	過去 3 カ月における路線バス利用について、 よく利用するバス 満足度 今後の利用意向 を教えてください。	よく利用するバス(系統番号・路線名または乗り 降りするバス停) 系統番号または路線名() もしくは、 よく乗車するバス停() よく降車するバス停()

			満足度					
				満足	や 満足	普通	_や 不満	不満
		希	例)運行本数	5	4	3	2	1
		望	1711)建1] 本奴	1時間	に (3)	本程度	
		する	 運行本数	5	4	3	2	1
		水	~1312	1時間	-	· ·	本程度	
		準	運行時間帯	5	4	3	2	1
		を下	-1.1.1-1-2	始発 (-) 時 終) 時
		段	時刻表通り の運行	5	4	3	2 = to	1
		に		5	رز 4	発度の過 3	≛1ι 2	1
ļ		記入	行きたい行先 に行ける		4 ス停から徒)分	
 			運賃	5	4	3	2	1
		具	他の交通手段との乗り継ぎ	5	4	3	2	1
		体的	利用方法のわかりやすさ	5	4	3	2	1
,		な 不	乗り降り しやすさ	5	4	3	2	1
		満内	子どもを連れての利用しやすさ	5	4	3	2	1
		容等	待合環境 (ベンチ、屋根等)	5	4	3	2	1
		を 記	時刻表や案内のわかりやすさ	5	4	3	2	1
		入	運行ルートの わかりやすさ	5	4	3	2	1
		L	~ の具体的な不満内容をご記入〈ださい					
			今後の利用意	句				
		1	. 今後も利用を	続けた	: l 1			
		2	. 自動車の購 <i>入</i>	、等、他	の移動	手段が	確保で	きれば
			利用をやめた	: l 1				問6へ
	路線パスに対する総合的な満足	1	 . 満足	2.や	や満足		3 . 普证	
問6	度を教えてください。		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				·	
• • •	(1 つを選択)				- -			問8へ
	(1	 . 自宅の近くに	バス信	 があ <i>る</i>	が利用	してい	
	 あなたは右記いずれに該当する		. 自宅の近くに . 自宅の近くに					
問 7	かを教えてください。	_	・日七の近くにも利用できな		17,197	.,_,,	ט נדונייוי	10 \ C
1-0 /	(1 つを選択)	2	. 自宅の近くに		ミがナい	\ / /\`	: I	. <i>†</i> = \
	(1)を選択)	3	・日七の近くにと思わない	-ハ人庁	-い. ゆ ^	·/J'、 イ 寸	「「一个」)一	問8へ
			こ心17分り					In) O (/

2 公共交通の維持・利便性向上に向けた取組について

✓ 公共交通を維持できなくなると、現在、自動車で移動できている方も、高齢となり自動車の 運転ができなくなった場合、ご自身の移動手段がなくなり、移動することが困難となってしまいます。

路線バス等の公共交通は、地域の移動を支える重要な移動手段ですが、マイカーへの過度な依存や運転手不足等により、減便や廃止となる路線が増加しています。

加えて、新型コロナウイルス感染症拡大により公共交通事業者の経営環境がさらに悪化しており、このままでは、近い将来、地域の公共交通を維持・存続することが困難となる可能性があります。

	質問			回答		
問8	あなたは路線バスなどの公共交 通を維持し、利便性を向上させ ることが必要だと思いますか。 (1 つを選択)		更 もり必要でに いらない		2 . やや必 4 . 必要でI	
問 9	公共交通を維持し、利便性を向上 「必要」「やや必要」「あまり必要 つを選んで 印をつけてください	でない」「			組の必要性 ない」のい	
	地域の移動を支える担い手確保と 育成 例)運転手の運転免許取得に対する補 助、乗務員を対象とした接遇研修の 実施	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない
	地域の多様な輸送資源等の活用 検討例)ボランティア輸送の活用	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない
	鉄道駅や待合環境の快適性の向上 例)利用の多いバス停への上屋・ベンチ の設置、駐輪場等の美化、駅前の放 置自転車の撤去	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない
	利用案内等のわかりやすさの充実 例)のりば案内看板等の改善、病院等の 主要施設への乗入れ、英語対応可能 な案内スタッフの常駐	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない
	デジタル技術活用等による乗継利便性の向上 例)ICカードの導入、キャッシュレス決済の導入、ハレカカード利用時の乗継割引	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない
	まちなかにおける移動環境の向上 例)中心市街地での移動ニーズに対応し た路線や、市内周遊モデルコースの 設定・運用	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない
	お得な乗車券の販売による公共交通を利用した外出の促進 例)1日乗車券の発行・販売箇所の追加、 環境定期券(通勤定期定時による休日の利用割引)	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない

	質問	回答				
問 9						
	つを選んで 印をつけてください 非常時・災害時に備えた体制づく り	。 必要	やや	あまり 必要	必要	わから
	例)非常時・災害時における利用者への 情報提供、サービス提供体制の整備	2	必要	でない	でない	ない
	利便性・快適性の向上 例)一定間隔のダイヤ等によるダイヤ改 善、QR コードを用いた定額制定期券 の販売	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない
	誰もが利用しやすい環境の整備 例)高齢者や障がい者等に配慮したバリアフリー化車両の導入	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない
	公共交通利用に対する市民の意識・行動の転換促進 例)出前講座(小学生を対象とした乗り方教室等)の実施、ポスター等による公共交通利用のメリットの周知	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない
	公共交通に関する効果的な PR の実施 例)ホームページ等を活用した情報提供、企画バス・列車等の運行、市内転入者等への公共交通マップ配布	必要	やや 必要	あまり 必要 でない	必要 でない	わから ない
	問8で「必要」「やや必要」と回	最も重	要と考える	取組 ()	
問 10	答した取組のうち、特に重要と 考える取組を教えてください。	2番目に重要と考える取組()				
	(取組の番号を記入)	3番目に重要と考える取組()				

✓ 倉敷市では、移動手段の選択肢を増やし、誰もがいつでも手軽に公共交通を利用できる環境を実現するための取組として、以下のような事業について検討しています。

事業 一般タクシーの相乗りサービス制度の普及促進

例)一定の地区と施設との間において、目的地が同じ旅客どうしを運送開始前に組み合わせて、 タクシーに相乗りさせ、定額の料金を乗車人数で割り勘(按分)するサービスについて、市 内の各地域・地区で利用できるようにする。

事業 一般タクシーを利用する際の運賃を補助する制度の導入

- 例)公共交通不便地域に居住する高齢者等がタクシーを利用する場合に、年間の利用回数や 1回当たりの補助額について上限を設け、利用料金の一部を補助する制度を導入する。
- ✓ 倉敷市では、公共交通の利用促進や、市民等の活発な交流による「まち」の賑わいを創出 するための取組みとして、以下のような事業について検討しています。

事業 沿線施設との連携による特典・お得なサービスの提供

例)公共交通事業者と商業施設が連携し、公共交通を利用して来店したお客様について、買い物をした際の割引や、ドリンクの無料サービス、ポイント付与等の特典やお得なサービスを提供する。

事業 鉄道や路線バスのサブスクリプション(定額制サービス)の提供

- 例)特定の曜日・時間帯を除き、定額制で特定の公共交通を乗り放題とするサービスを提供する。
- ✓ 上記の取組について、以下の問 11~18 にお答えください。

<事業 に関する質問> 一般タクシーの相乗りサービス制度の普及促進

例)一定の地区と施設との間において、目的地が同じ旅客どうしを運送開始前に組み合わせて、 タクシーに相乗りさせ、定額の料金を乗車人数で割り勘(按分)するサービスについて、市 内の各地域・地区で利用できるようにする。

	質問	回答		
問 11	あなたはこの事業が必要である と思いますか。 (1 つを選択)	1.必要 2.や・ 3.あまり必要ではない 4.必§	や必要 要ではない	
問 12	あなたはこの事業が実施された 場合、移動手段としてタクシー を選択する機会が増えると思い ますか。		や思う わない	
	(1 つを選択)			

<事業 に関する質問> 一般タクシーを利用する際の運賃を補助する制度の導入

例)公共交通不便地域に居住する高齢者等がタクシーを利用する場合に、年間の利用回数や 1回当たりの補助額について上限を設け、利用料金の一部を補助する制度を導入する。

	質問	回答
問 13	あなたはこの事業が必要である と思いますか。 (1 つを選択)	1.必要 2.やや必要 3.あまり必要ではない 4.必要ではない
問 14	あなたはこの事業が実施された 場合、移動手段としてタクシー を選択する機会が増えると思い ますか。	1.思う 2.やや思う 3.あまり思わない 4.思わない
	(1 つを選択)	

<事業 に関する質問> 沿線施設との連携による特典・お得なサービスの提供

例)公共交通事業者と商業施設が連携し、公共交通を利用して来店したお客様について、買い物をした際の割引や、ドリンクの無料サービス、ポイント付与等の特典やお得なサービスを提供する。

	質問		答
問 15	あなたはこの事業が必要である と思いますか。 (1 つを選択)	1.必要 3.あまり必要ではない	2. やや必要 4. 必要ではない
問 16	あなたはこの事業が実施された 場合、公共交通を利用して、ま ちに出かけたいと思いますか。 (1 つを選択)	1 . 思う 3 . あまり思わない	2 . やや思う 4 . 思わない

<事業 に関する質問 > <u>鉄道や路線バスのサブスクリプション(定額制サービス)の提供</u>例)特定の曜日・時間帯を除き、定額制で特定の公共交通を乗り放題とするサービスを提供する。

	質問		答
問 17	あなたはこの事業が必要である と思いますか。 (1 つを選択)	1.必要 3.あまり必要ではない	2. やや必要 4. 必要ではない
問 18	あなたはこの事業が実施された 場合、公共交通の利用回数が増 えると思いますか。 (1 つを選択)	1 . 思う 3 . あまり思わない	2 . やや思う 4 . 思わない

は、日常の外出・移動で困っているこ。 さしたら、ご自由にご記入ください。	とや、公共交通全般に関するご意見・ご	要望等が

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**令和4年 月 日()まで**に ポストに投函してください(切手を貼る必要はありません)。

設問意図

設问	意図		
	質問項目	把握したい内容	備考
あなた	ご自身について		
_	性別	·基本情報	R3アンケートと同じ設問
_	年齢	・基本情報(学生、高齢者等の把握)	R3アンケートと同じ設問
_	同居人	・基本情報(高齢者の一人暮らし、子育て世帯等の把握)	R3アンケートと同じ設問
_	職業	·基本情報	R3アンケートと同じ設問
	お住まいの地域(郵		
_	便番号)	・基本情報(公共交通の利用しやすさの把握)	R3アンケートよりも詳細に
	駅・バス停までの所要	「基本情報(公共文通の利用 U P y cの行権) 	把握
	時間		
_	運転免許保有状況		R3アンケートと同じ設問
l _	自由に利用できる乗	・基本情報(移動環境の把握)	 R3アンケートと同じ設問
	り物		R3アフケードと同じ試向
1 公	共交通の利用状況につ	いて	
問1	鉄道利用状況	・公共交通利用状況の把握	
問2	タクシー利用状況	・問8以降とのクロス集計により、利用状況別に施策に対する感度を確	 R3アンケートと同じ設問
問3	コミタク利用状況	認(未利用者の感度が高い施策の実現により新たな利用者獲得につ	
問4	バス利用状況	ながる可能性)	
	よ〈利用するバス	・バス利用者の意向について、R3アンケートの不足分を補足	 バス利用者が回答
問5	満足度	バス利用者の回答が少ない(58票)ことに対する指摘への対応	R3アンケートと同じ設問
	今後の利用意向		110777 121-30121-3
問6	路線バスに対する総	・路線バスに対する総合的な満足度の把握(バス利用者を対象)	
10,0	合的な満足度		
問7	バス未利用の状況	・問1~4と同様	バス未利用者が回答
			R3アンケートと同じ設問
2 公	、共交通の維持・利便性	E向上に向けた取組について (1975年) (1975年	
		・公共交通の維持・利便性向上に対する意向の把握	
問8	公共交通の必要性	個別の施策の必要性を問う前に、公共交通全般に対する大まかな意	R3アンケートと同じ設問
		向を把握	
		・次期計画で位置付けることを想定する施策に対する意向(必要性)	
	個別の施策の必要	を把握	
問9	性	・必要性が低い施策については、実施した際に得られる効果が限定的と	
		なることも考えられるため、回答結果を踏まえて次期計画に位置付ける	
	V = 1 + 2 = 2 + 67 =	施策を精査	
問10	必要と考える施策の	・施策の重要度を把握し、実施の優先順位等を検討する際に活用	
+⇔≐-+ ⊏	優先度	ロエ市米ンについて	
快削上	Pの事業(次期計画の □		
		・事業 に対する意向(必要性)を把握 ・必要性が低い場合。実体した際に得られて効果が限定的になること	
問11	事業 の必要性	・必要性が低い場合、実施した際に得られる効果が限定的となることも	
		考えられるため、回答結果を踏まえ、必要に応じて次期計画への位置付	
-		けや内容の見直しを実施	
		・事業 が、移動手段の選択肢の確保にどの程度寄与するかを確認	
四40	車業の左急性	・有効性が低い場合、実施した際に得られる効果が限定的となることも	
0] Z	事業の有効性	考えられるため、回答結果を踏まえ、必要に応じて次期計画への位置付	
		けや内容の見直しを実施	

質問項目	把握したい内容	備考
問13 事業 の必要性	・事業 に対する意向(必要性)を把握 ・必要性が低い場合、実施した際に得られる効果が限定的となることも 考えられるため、回答結果を踏まえ、必要に応じて次期計画への位置付 けや内容の見直しを実施	
問14 事業 の有効性	・事業 が、移動手段の選択肢の確保にどの程度寄与するかを確認 ・有効性が低い場合、実施した際に得られる効果が限定的となることも 考えられるため、回答結果を踏まえ、必要に応じて次期計画への位置付 けや内容の見直しを実施	
問15 事業 の必要性	・事業 に対する意向(必要性)を把握 ・必要性が低い場合、実施した際に得られる効果が限定的となることも 考えられるため、回答結果を踏まえ、必要に応じて次期計画への位置付 けや内容の見直しを実施	
問16 事業 の有効性	・事業 が、公共交通の利用促進や、「まち」の賑わいの創出にどの程度 寄与するかを確認 ・有効性が低い場合、実施した際に得られる効果が限定的となることも 考えられるため、回答結果を踏まえ、必要に応じて次期計画への位置付 けや内容の見直しを実施	
問17 事業 の必要性	・事業 に対する意向(必要性)を把握 ・必要性が低い場合、実施した際に得られる効果が限定的となることも 考えられるため、回答結果を踏まえ、必要に応じて次期計画への位置付 けや内容の見直しを実施	
問18 事業 の有効性	・事業 が、公共交通の利用促進にどの程度寄与するかを確認 ・有効性が低い場合、実施した際に得られる効果が限定的となることも 考えられるため、回答結果を踏まえ、必要に応じて次期計画への位置付 けや内容の見直しを実施	
3 自由意見 任意		